

II 特別シリーズII

科学技術 振興機構 『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第125回

朝日大学の活動報告



大友克之 (朝日大学学長)

北京大学口腔医学院から歯学部学生等を招へい、歯科衛生士の業務等研修

① 送り出し機関との関係

朝日大学は、2015年度から3年連続で中国の北京大学口腔医学院からの受入れについて「さくらサイエンスプラン」の支援を受けた。

元国立北京大学口腔医学院附属医院歯科診療室であった北京大学口腔医学院は1941年に設立され、現在では中国を代表する歯科医学教育研究機関であり、中国衛生計画生育委員会の管轄下に置かれる医学院である。また中国が諸外国と交流するための窓口としての役割も担っている。附属病院の一日の患者数は5000人を超え、現在、診療チェア569台、入院病床157床、臨床診療室15室、補助診療室8室、そして附属医療機関5か所を有し、歯周病科、歯面欠損歯髄病科、顎顔面外科、口腔修復科、歯列矯正科、インプラント科、小児歯科、口腔粘膜科があり、中国の国家臨床プロジェクト口腔部門の全ての診



朝日大学正面玄関にて



岐阜県歯科衛生士会会長を表敬訪問

2016年度に採択されたプログラムでは、中国で歯科衛生士の養成が急務であるという北京口腔医学院側の要望に応え、同院で学ぶ歯学部学生6名の他に歯科専門看護師研修生2名を招聘した。中国には現在「歯科衛生士」という職業がない。看護師資格を取った後に、医科か歯科の現場に分かれて研修する。日本の歯科衛生士の主な業務がチャエアシードでの介助と疾患予防であるのに対し、中国の歯科専門看護師は入院患者に対するケアと顎顔面手術の介助

② プログラム概要

療科を有す国内最大級の歯科診療機関である。本学歯学部は、同学院と1984年に姉妹校協定を締結し、これまで30年以上にわたり歯科医学分野において教育・研究面で積極的に交流している。1993年以降は、双方の学部学生の短期派遣研修(約8日間)を毎年継続しており、その数は両大学で240名以上にのぼる。

プログラム	
【1日目】	到着
【2日目】	朝日大学PDI 岐阜歯科診療所及び朝日大学附属病院視察 岐阜県歯科衛生士会会長表敬訪問 朝日大学歯科衛生士専門学校にて研修 学長主催歓迎会
【3日目】	金閣寺・清水寺見学 京都市内の朝日大学卒業生が院長を務める歯科医院を訪問
【4日目】	京都及び東京にて歯科器械・歯科材料製作者社視察
【5日目】	姉妹校明海大学浦安キャンパス及び明海大学PDI浦安歯科診療所視察 中国大使館表敬訪問 理事長主催歓迎会
【6日目】	明海大学坂戸キャンパスにて研修
【7日目】	日本科学未来館見学 都内観光
【8日目】	帰国

を主たる業務としている。急速な高齢化の進展とともに中国国内の歯科患者数は増加の一途をたどり現場の歯科医師は多忙を極めており、予防歯学の普及といった点からも歯科衛生士の育成が急がれている。

日本滞在期間の前半で研修生は、朝日大学の附属病院において歯科衛生士の業務について理解を深めた。まず岐阜県歯科衛生士会会長を表敬訪問。会長からは日本における歯科衛生士育成の歴史とその業務について詳しく説明があった。その後、本学歯科衛生士専門学校から、歯科衛生士は口腔疾患(う蝕や歯周病)に対する予防を主に行う職種であるという説明があり、研修生は専門学校の育成カリキュラムに係るガイダンスを受講した。このカリキュラムは研修生たちに大きな刺激となった。また実習の紹介では、地元小学校でのフッ化物塗布、保健センターでの母子保健事業、高齢者施設での口腔ケアの実習等を詳細に説明すると、中国国内での必要性を強く感じたようであった。本学での研修の最後に研修生に対して、歯科予防業務に関する教科書を贈呈し、帰国後も続けて勉強して

ほしいとエールを送った。研修後半では、歯科医学分野における日本の最先端技術紹介するため、京都と東京で歯科医療機器および歯科材料製作メーカーを視察した。また日本科学技術未来館では、医療現場に活用されつつあるロボット技術や遺伝子レベルでの次世代の医療についての展示を見学した。さらに駐日中国大使館の阮湘平公使級参事官を表敬訪問し「さくらサイエンスプラン」での研修成果を報告したところ、参事官からは今後の歯科医学分野で両大学が担う役割に期待しているとの言葉を頂戴した。

③協定の締結

研修生は帰国後、日本での「さくらサイエンスプラン」の成果を院長(学部長)に報告。その後も本学の歯科衛生士専門学校の教員とメールを通じての情報交換を継続した。双方の熱心な交流の結果、2017年10月には教員2名が北京大学口腔医学院から招聘され、同学院で行われた歯科専門看護師向けの全国大会で教育講演を行うこととなった。中国全土から集まった100名を超える歯科専門看護師は、日本の歯科衛生業務ならびに養成システムに強い関心を示した。この講演を契機として2017年12月に同学院の院長、副院長、看護部主任が来日し、1984年に締結した姉妹校協定を基盤として、新たに朝日大学歯科衛生士専門学校と北京大学口腔医学院看護部の間で学術交流協定を締結した。中国での歯科衛生士の育成のための第一歩を踏み出すべく土台作りが出来上がった。

在日本中国大使館を表敬訪問



④今後の展望

日本と同様、高齢化社会が進む中国では、増加する高齢者の歯科疾患への対応と予防医学の展開が喫緊の課題である。今後も国際化を掲げる朝日大学の建学の精神に立脚し、教員・研修生の相互派遣、情報交換、歯科衛生士専門学校の学生短期研修などの交流を展開し、中国での予防歯学に係る知識の普及、同学院が進める歯科衛生士の育成・教育システム構築に寄与するとともに、何より両国の若い世代の交流を促進していく所存である。



歯科衛生士専門学校教員が北京大学口腔医学院で講演



朝日大学で歯科衛生士教育のガイダンス受講



北京大学看護部と朝日大学歯学衛生士専門学校との協定締結